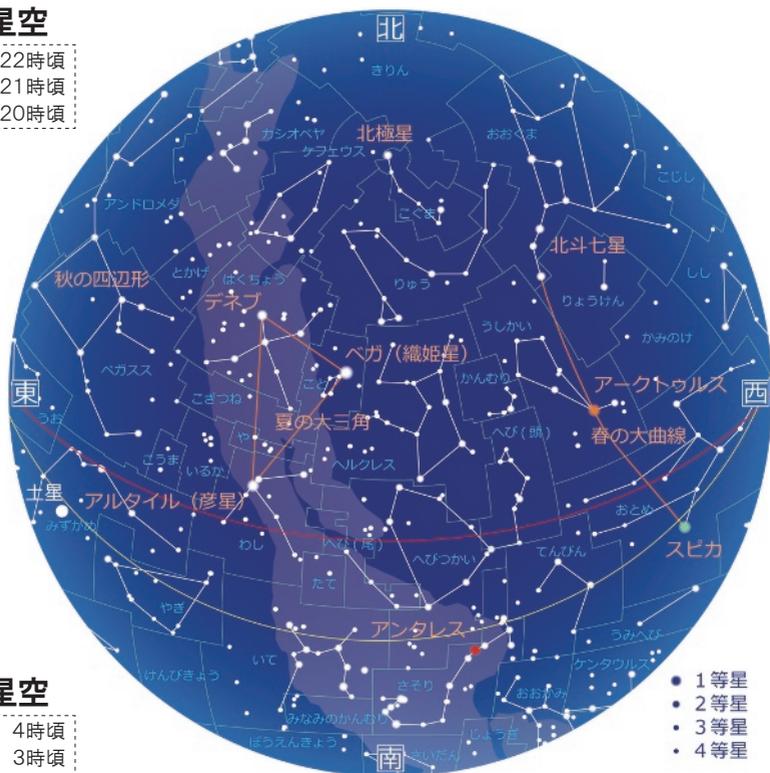


星空ガイド 7月16日～8月15日

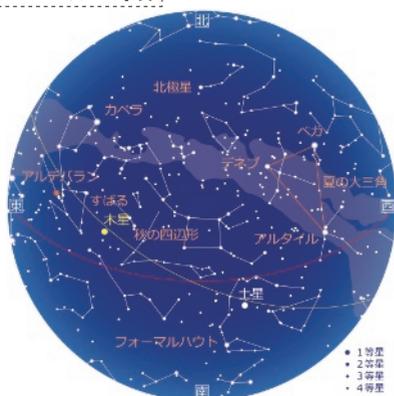
よいの星空

7月16日22時頃
8月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

7月16日 4時頃
8月1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

| 月 | 日 | 日の出 | 日の入 | 月の出 | 月の入 | 月齢 |
|---|----|------|-------|-------|-------|------|
| 7 | 16 | 4:56 | 19:11 | 3:03 | 18:23 | 27.9 |
| | 21 | 4:59 | 19:08 | 7:50 | 21:22 | 3.4 |
| | 26 | 5:03 | 19:05 | 12:37 | 23:27 | 8.4 |
| 8 | 1 | 5:07 | 19:00 | 19:03 | 3:47 | 14.4 |
| | 6 | 5:11 | 18:56 | 21:55 | 9:59 | 19.4 |
| | 11 | 5:14 | 18:51 | 0:13 | 15:23 | 24.4 |
| | 15 | 5:17 | 18:46 | 3:46 | 18:28 | 28.4 |

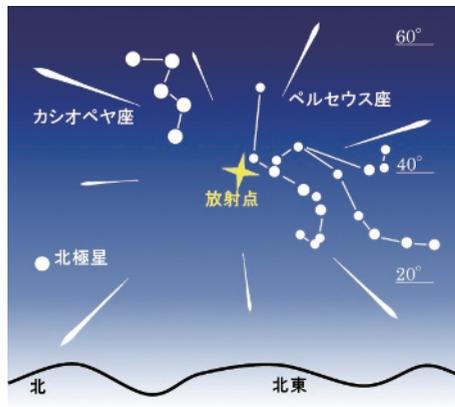
※惑星は2023年8月1日の位置です。

ペルセウス座流星群を見よう

8月13日(日)にペルセウス座流星群が極大を迎えます。最も多く流れ星が流れる極大時刻は13日の夕方5時と予報されています。ですので観察のねらい目としては、12日深夜から13日未明、もしくは13日深夜から14日未明ということになります。

今年は新月に近いため、月明かりの影響も少なく、街明かりの少ないところではたくさんの流れ星を見ることができそうです。また、13日の日暮れから20時過ぎ頃までは、数が少ないながらも長経路の流れ星が見られるチャンスがあります。

流れ星は、ペルセウス座にある放射点から四方八方に流れますので、なるべく空の広い範囲を見るようにして観察してみてください。



図：ペルセウス座流星群の放射点
(8月13日午前1時頃)

月と明るい夏の一等星の饗宴

7月25日(火)には、半月近くの月とおとめ座の一等星スピカがならびます。夜9時頃ですと南西の空の低いところに見られます。また、28日(金)には半月過ぎの月とさそり座の一等星アンタレスがならびます。こちらは夜9時頃、南の空をご覧になってみてください。

【こよみと天文現象】

| 月 | 日 | 曜 | 主な天文現象など |
|---|----|---|-------------------------------------|
| 7 | 18 | 火 | ●新月(14時) |
| | 19 | 水 | 夕空の低空に月と水星がならぶ |
| | 20 | 木 | 土用の入/夕空に月と金星がならぶ 月が最遠(406,289km) |
| | 21 | 金 | 夕空に月と火星がならぶ |
| | 23 | 日 | 大暑 |
| | 25 | 火 | 月とスピカがならぶ |
| | 26 | 水 | ●上弦(7時) |
| | 28 | 金 | 月とアンタレスがならぶ |
| | 30 | 日 | みずがめ座デルタ流星群が極大のころ |

| 月 | 日 | 曜 | 主な天文現象など |
|---|----|---|----------------------------|
| 8 | 2 | 水 | ○満月(4時) 月が最近(357,311km) |
| | 3 | 木 | 月と土星がならぶ |
| | 8 | 火 | 立秋/月と木星がならぶ ●下弦(19時) |
| | 13 | 日 | ペルセウス座流星群が極大(17時) |

西野 藍子(科学館学芸員)